

このお薬の服用による^{ぼうこう}膀胱がんの発生リスクが増加する可能性を完全には否定できませんので、以下の点にご注意ください。

- 膀胱がんの治療中の方はこのお薬の服用をしないこととされています。膀胱がんと診断されたことのある方は主治医に伝えてください。
- 膀胱がんの早期発見のため、^{けつによ}血尿や^{ひんによ}頻尿、^{はいによ}排尿痛などの症状に気づいた場合には、すぐに主治医に連絡してください。
- くれぐれもご自身の判断で服用を中止しないでください。心配な方は主治医に相談してください。

保管等に関する注意点

- 直射日光・高温多湿を避け、子供の手の届かないところに保管してください。
- このお薬はあなただけに処方されたお薬です。他の人に譲ったり渡したりしないでください。

ピオグリタゾン錠/OD錠「日医工」

を服用される方とご家族の方へ

このお薬は、インスリンの働きを高めて、血糖値を下げるお薬です。

飲み方について

- 主治医または薬剤師の指示通りに服用してください。自分の判断で服用を中止したり、服用する量をかえたりすると病気が悪化することがあります。
- 昼までに飲み忘れに気づいた時は、1回分をすぐに服用してください。昼を過ぎて気づいた時は、1回とばして次の時間に1回分を服用してください。決して2回分を一度に服用しないでください。
- OD錠は水なしでも服用することができます。舌の上でだ液を含ませ軽くつぶしてから、だ液と一緒に飲み込んでください。ただし、水なしの場合には寝たままで服用しないでください。

服用中の注意点

●低血糖症とその対処法

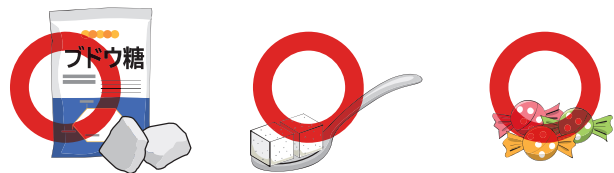
- 血液中の糖分が少なくなりすぎた危険な状態で、**強い空腹感、力の抜けた感じ、冷や汗、手足のふるえ、頭痛、意識を失う等**の症状があらわれます。



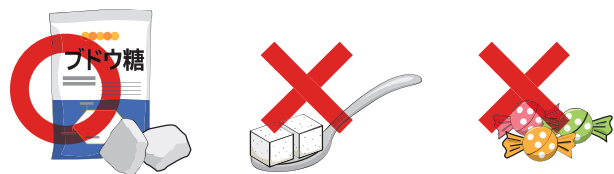
- **高所作業や自動車の運転等危険を伴う作業をしている時に、低血糖症を起こすと事故につながります。特に注意してください。**



- 普段から砂糖などを持ち歩き、低血糖症の症状があらわれた場合には、**すぐに砂糖あるいはブドウ糖**を摂取してください。



- α グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース製剤、ボグリボース製剤、ミグリトール製剤）と併用している場合には、必ず**ブドウ糖**を摂取してください。



- 低血糖症を起こした場合には、早めに主治医に報告してください。

●しんふぜん ちようこう心不全の徴候に注意

- このお薬の服用で、むくみ（浮腫）や体重の増加がみられ、息切れや動悸などどうき心不全の徴候があらわれることがあります。次の症状があらわれた場合には、**服用を中止して主治医に連絡してください。**



特にしんきんこうそく きようしんしょう しんきんしょう心臓の病気（心筋梗塞、狭心症、心筋症、高血圧性心疾患など）のある方やインスリンと一緒に使用している方はご注意ください。

●その他の注意

- このお薬には一緒に服用する時に注意が必要なお薬があります。他の病院を受診する場合や、薬局などで他のお薬を購入する場合には、**必ずこのお薬を服用していることを医師または薬剤師に伝えてください。**
- このお薬の服用で、気になる症状があらわれた場合やわからないことがある場合には、**主治医または薬剤師に気軽に相談してください。**